

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エトワル		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日		～ R6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	R6年11月1日		～ R6年11月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	戸外での活動を提供している。	買い物や公共施設見学で身近な地域社会に触れる機会を定期的に行っている。外出先でのマナー、ルールに触れたり、自分で好きなおやつを選択し、支払いをする等の学びや気付きの場を提供している。また、主に長期休暇では外食の経験が出来るようにしている。	利用人数や職員体制、子ども達の特性等に配慮しながら、いくつかのグループに分け、別日等での実施も考えていく。来年度から利用人数が増える事が見込まれているが、外出・外食等の戸外での活動機会を確保する。
2	長年働いている職員が多く、職員同士のコミュニケーションが多く取れている。	毎日支援会議を行い、その日の支援内容等の確認を必ず行っている。利用者一人一人について話合う時間を取ることができ、情報を共有出来ている。	5領域の視点を全員が意識して日々の支援会議や支援に臨めるようにしていく。
3	園庭が広く、夏場にはプールや水遊び等ができる。	学校でのプール実数が少なく、その分、エトワルでは週に2～3回のプール活動を取り入れている。水遊び玩具だけでなく、氷や泡等も利用しながら感覚刺激を楽しみ、季節感を存分に味わえるようにしている。また、シャンプー等の練習もしている。	熱中症対策、安全管理等の徹底を図る。また、年齢が上がるにつれ、プールに入る事への抵抗がある子もいる為、個々の思いを尊重しながら工夫して季節感を感じられるような活動を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数が少ない。	支援室が少ない為、個別に宿題をしたり、お絵描きをする等、集中できる場所の確保が困難である。また、クールダウンするための場所がなく、やむを得ない場合は園庭等、外の場所の提供になってしまう。	事務所が空いている時間帯は事務所等の利用も考える。また、必要に応じてパーティションの購入を検討する。
2	情報の発信。	ブログを行っているがあまり周知できていない。また、活動時や普段の子ども達の様子を写真等で伝えるツールが少ない。	予定表をブログに載せる、保護者に配布する。写真付きのエトワル通信を定期的に配布する等の検討を行う。
3			